

新規就農者の育成

要約

農業従事者の高齢化と後継者不足により、担い手不足が深刻化している。一方、新規に農業を開始する新規就農者が増え、地域の担い手として期待されている。新規就農者は農地や資金、技術、経営面、また地域に馴染むための情報等が不足し、就農後定着するには様々な課題がある。そこで、新規就農者の増加及び経営の安定化に向けた取組を行った。

現状(背景)と課題

① 新規就農者の増加に向けた取組

関係機関と連携し、新規就農者を増やし農業の担い手を確保する必要がある。

(認定新規就農者 H27~H29 計7名)

② 新規就農者の経営の安定

農業経営を速やかに安定化させ、新規就農者の多くが意欲ある担い手として地域への定着を図る必要がある。

(5年目の営農継続の割合 100%)

目標 (H30年度)

① 認定新規就農者 2名増加

② 5年目の営農継続の割合 100%

活動内容

- 新規就農相談に関するチラシを作成し、HPに掲載するなど広く周知した。
- コーディネーター役として研修生の受入農家を確保し、状況把握のための訪問を実施した。
- 新規就農者を対象に、GAP及び労務管理に関するセミナーや主要品目であるナスの栽培講習会を開催した。

成果

① 認定新規就農者 5名増加

② 5年目の営農継続の割合 100%



青年等就農計画の作成指導



新規就農者支援セミナー



ナス栽培講習会

普及活動のポイント

- ・新規就農相談のPRチラシを初めて作成し、新規就農希望者への積極的な呼びかけを行った。
- ・新規参入者支援事業における研修生の受入農家を調整。現在、元指導農業士のもとで研修中。
- ・年度当初にあらかじめ重点指導対象者を決めることで、効率的に巡回指導を行うことができた。

対象の変化

- ・新規就農相談を受けることで、就農希望者は就農に向けた準備をイメージできた。
- ・研修生については、受入農家の指導を通じて、栽培に関する基礎的な技術及び知識を習得した。
- ・新規就農者支援セミナー及びナス栽培講習会を通じて、経営や栽培に関する知識を習得した。

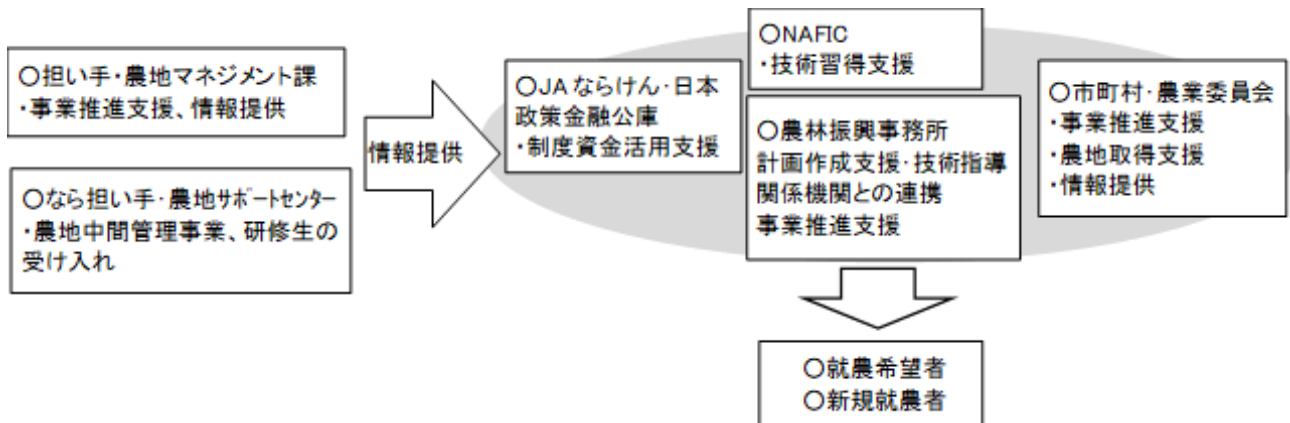
対象者からのコメント

- ・新規就農者支援セミナーを受けて、学んだことを自分の農業経営に活かしていこうと感じた。
- ・ナスの栽培講習会では、新規就農者だけでなく熟練農家を交えることで、互いに交流を図ることができた。

これからの活動ビジョン

- ・新規就農者増加に向けた支援を市町村、JA等とも連携しながら継続する。
- ・ICT技術の活用などにより熟練農家の栽培技術をマニュアル化し、新規就農者が参考にすることで、早期育成を図る。
- ・新規就農者が孤立しないよう、4Hクラブ（市町村の後継者組織）や産地の部会に所属するよう誘導する。
- ・産地パワーアップ事業を活用し、産地の規模拡大を図りつつ、研修生の受入体制を整える。

活動体制



用語解説

認定新規就農者：

青年等就農計画を市町村長が認定し、その計画に沿って農業を営む新規就農者。

南部農林振興事務所農業普及課
担当：担い手・農地マネジメント係 堀野・萩原・長城
新規就農者確保事業（農業次世代人材投資事業）